

「仙台市協働まちづくり推進プラン2016」の総括（取り組み成果）

【分野1】市民活動の促進及び市民協働の推進に関する事項

①区役所のまちづくり拠点機能強化

各区・総合支所にふるさと支援担当職員を配置（H29～）し、特定地域の困難課題に市民協働で取り組む「ふるさと底力向上プロジェクト」をはじめ、各区の地域特性に応じた事業に取り組んだ。



若林区のふるさと底力向上プロジェクト
「六郷東部地区現地再建まちづくり」



秋保のふるさと底力向上プロジェクト
「秋保体験観光創出支援」

②市民活動サポートセンター機能強化

施設のあり方や必要な機能についての市民との意見交換を参考に、使いやすく親しまれるような機能強化を図るため、フリースペースの拡充など施設の一部のリニューアルを実施した（H30.2）。

【利用者数】

H28	H29	H30	R1
66,117人	63,913人	68,815人	63,621人

※H29はリニューアル工事、R1は新型コロナウイルス感染症対策により使用制限期間有



エントランスホール(1階)

窓口に加え、交流・イベントスペースとして活用できるよう整備



交流サロン(5階)

可動の仕切りや家具を設置し、多様な用途に対応

③新たな助成制度の構築



八木山ハーブまちづくり



仙台スポーツボランティアプロジェクト

「協働まちづくり推進助成事業」を開始し、2団体以上の多様な主体が協働により実施する、社会的課題の解決やまちの魅力の創造を図る取り組みに対し、事業費の助成やコンサルティングなどのサポートを行い、協働の取り組みを促進した（H29～）。

【助成実績】

H29	H30	R1	R2
4件	4件	3件	4件

※H29はモデル事業として実施

④郊外住宅地・西部地区まちづくりプロジェクト

人口減少や高齢化が地域全体で進む郊外住宅地や西部地区において、地域の担い手が自発的に取り組むまちの持続性確保や交流人口拡大に資する事業に対し、活動費の助成等の支援を行った（H29～）。

【採択事業数】

H29	H30	R1	R2
6事業	7事業	11事業	4事業

鶴が丘「支え合い」コミュニティ・まちチャレンジ事業
「お茶の間学習教室」



泉区西部地区の
「泉かむりの里観光」推進事業
特産品開発や農業体験型観光の取り組み

【分野2】政策形成過程への市民参画の推進に関する事項

①市政に関する情報の公開の推進

情報発信の迅速化とウェブアクセシビリティの向上を図るため、市ホームページのリニューアルを実施した（H28.10）。

また、各課が保有する行政情報のオープンデータ化を促進し、カタログ登録件数を増加させるとともに、セミナー開催などによりオープンデータの利活用を推進した。

【オープンデータカタログ登録件数(累積)】

H28	H29	H30	R1
120件	165件	226件	227件

②市民意見の提出機会の確保

パブリックコメント、アンケート、ワークショップなどの様々な手法により、政策の企画・立案・評価等の各段階において、市民の参画を推進した。

○新総合計画策定に関する市民意見聴取

市民から多くの意見を提出してもらい、計画策定の参考とするため、全市民を対象としたアンケートの実施や、各区における区民参画イベントを開催したほか、未来の仙台を担う中高生世代がこれからのまちづくりの施策について共に考え、仙台市長に提案する「せんだい中高生会議」を開催した（H30～）。



せんだい中高生会議（R1.7.28開催）
には市内中高生54人が参加



ココロン・カフェ

○障害のある方からの意見聴取の推進

障害のある方も含めた幅広い市民に参加を募り、障害の有無に関わらず暮らしやすいまちづくりを考えるワークショップ「ココロン・カフェ」を開催し、障害理解を促進するための取り組みについて意見交換を行った。

【ココロン・カフェ実施回数】

H28	H29	H30	R1
6回	6回	6回	4回

上記のほか、様々な事業において市民意見の提出の機会の確保を行った。

- ・東部地域移転跡地利活用推進事業
- ・市役所本庁舎建替事業
- ・定禅寺通活性化推進事業
- ・音楽ホール整備事業
- ・青葉山公園整備事業 など



定禅寺通
パブリックミーティング



本庁舎建て替えに関する
市民シンポジウム

【分野3】多様な主体による活動の促進に関する事項

①若者の社会参加促進

社会課題の解決などに取り組む仙台市内の若者団体の活動を表彰し、団体の認知度や構成員のモチベーションを高める「仙台若者アワード」を企業及び市民活動団体との協働で実施した（H29～）。

また、参加した若者が「自分ごと」として関われるテーマを設定し、ワークショップやフィールドワークを通じ、まちづくりに関する新たな視点やアイデアを生み出し、主体的アクションにつなげる「仙台まちづくり若者ラボ」の実施を予定している（R2～）。



若者アワード2019

【若者アワード応募団体数】

H29	H30	R1
27団体	26団体	17団体

②地域コミュニティ体力強化



町内会役員担い手講座



地域活動団体交流会

町内会役員等を対象に「町内会役員担い手講座」を開催し、町内会活動活性化についての講義やグループワークを実施した（R1～）。また、「地域活動団体交流会」を開催し、町内会や地区社会福祉協議会など地域活動団体の事例発表やワークショップを通じて、これからの地域づくりに向けた参加者同士の情報・意見交換等を行った（H30～）。

【町内会役員担い手講座実績(R1)】

開催回数	参加者数
14回	579名

【交流会来場者数】

H30	R1
約200名	110名

③みんなでつくろう地域交通スタート支援事業

（R2～：みんなで育てる地域交通乗り乗り事業）

日常生活に必要な移動手段が課題となっている地域において、持続可能な地域の足の確保に向けた地域団体の主体的な取り組みに対し支援を行う事業を開始、運行計画策定への支援や経費の一部補助などを行った（H30～）。補助率の引き上げなどの補助制度の拡充を実施した（R2～）。



燕沢地区交通検討会

④子どもの居場所づくり支援

食事の提供や学習支援などを通じて、子どもが安心して過ごせる居場所である「子ども食堂」を運営する団体に対して開設・運営費を助成する制度を開始した（H30～）。また、ネットワーク会議を開催し、運営のノウハウなど、団体間の情報共有を支援した。



【助成申請件数】

H30	R1
25団体	34団体

⑤地元企業の地域活性化活動等の促進

「地域社会の発展」や「市民生活の向上」に努め、他の中小企業の模範となる市内中小企業を表彰する『仙台「四方よし」企業大賞』を実施した。（H28～）また、「四方よし」な取り組みを地域全体に広げていくため、『仙台「四方よし」宣言企業』の登録制度を新たに開始した。（R1～）

【有効応募数】

H28	H29	H30	R1
15社	11社	13社	9社

⑥各種広報ツールを利用した情報発信

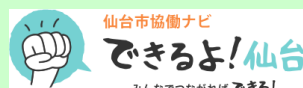
協働の考え方や進め方をまとめた「協働まちづくりの手引き」と、市内の協働の取り組みを紹介する事例集「協働まちづくりの実践」（H30.3）・リーフレット「協働によるまちづくり・仙台」（R2.3）を作成し、紙媒体での配布のほか、市HPなどのウェブ上でも配信をしている。



取材・執筆を市民、学生、市職員ライターが行うなど市民協働で制作



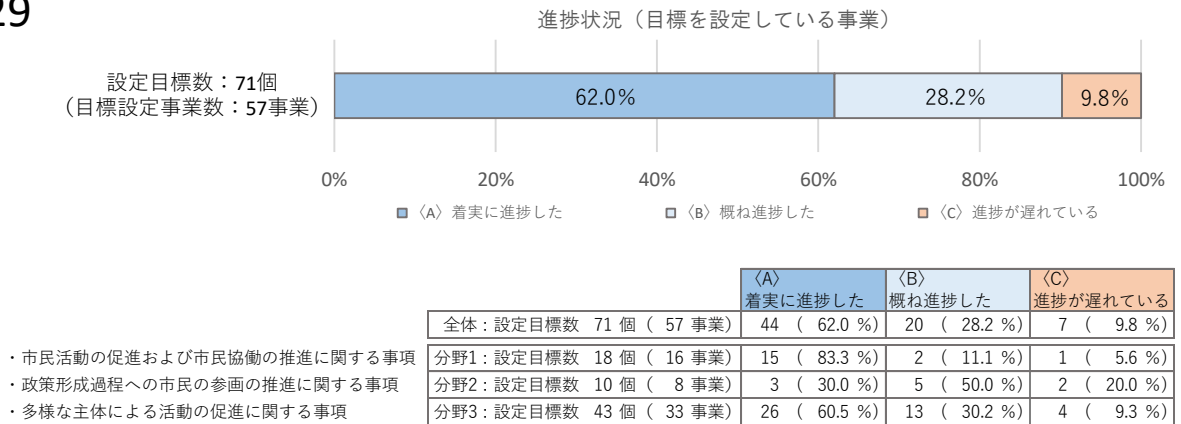
仙台市協働まちづくり推進委員会で検討、制作



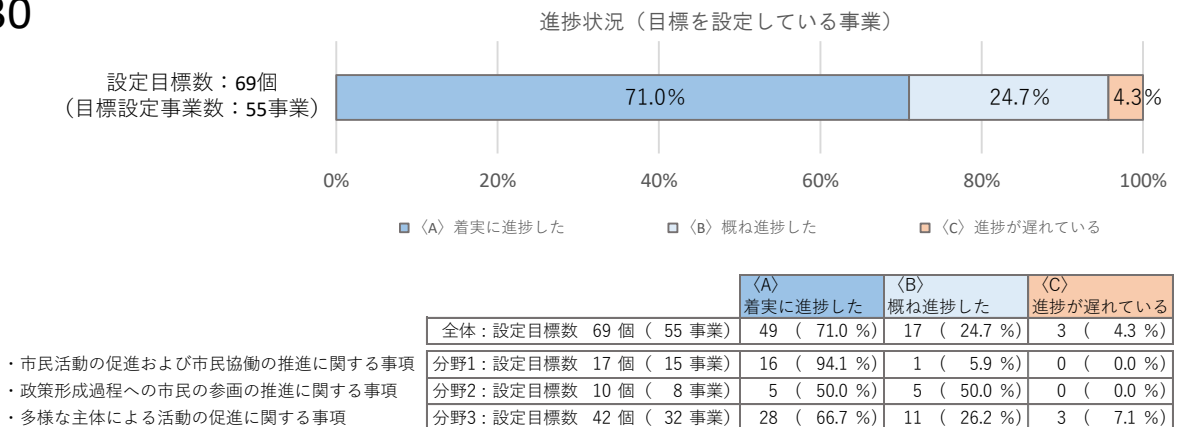
また、協働の取り組みの事例や、各種支援制度、相談窓口等の紹介など、協働まちづくり推進のための情報を総合的に配信する「協働ナビゲーションサイト」の運用を開始した（H30～）。

プラン2016掲載事業の進捗状況の推移

H29



H30



R1

